

令和4年度秋田地域保健医療福祉協議会 献血推進部会報告事項要旨

(1) 開催概要

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、書面開催とした。

令和5年3月9日付け秋福環一 3013 にて、献血推進部会委員17名へ送付し、委員より全会一致で承認を得た。

(2) 対象者 17委員

部会長 佐々木範明 委員 (男鹿潟上南秋医師会長)

(4) 内容

1) 令和4年度献血事業の状況について

令和4年1月末時点の目標達成率は102.4%となった。地域の企業・赤十字奉仕団・各地区ライオンズクラブ等が献血協力を呼びかける「地域献血」の取り組みを、令和4年1月末現在で17回実施した。

協力事業所で出来る所からとして、所属事業所における献血推進のため毎年の事業所内献血の継続などを対応していく、などの意見が挙げられた。

2) 令和5年度献血事業計画(案)について

来年度の献血目標として秋田中央保健所管内は前年度比39人減の1,040人が示された。「令和5年度秋田中央保健所献血推進計画(案)」において、若年者への啓発周知として、新成人式会場において啓発資材を配布することを新たに盛り込んだ。

若年者の献血啓発として、成人年齢が20歳から18歳に引き下げられたことにより、「はたちの献血」において新たな展開を検討しても良いのでは、という意見が寄せられた。感染症の流行状況に合わせて、高校生有志によるボランティア活動への御協力や献血セミナーの開催など、若年者層への啓発周知の実施を検討していく。